



仙台・宮城元気ニュース

令和5年度第5号(通算第84号)
令和5年12月27日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

地
振

「みやぎ食材伝道士」の農林水産生産現場実習が始まりました
【地方振興部】 2

地
振

荒浜産「チダイ」を使用したお弁当・お惣菜のレシピコンテストが
開催されました【地方振興部】 3

林
振

原木しいたけPRイベントを開催しました
【林業振興部】 3

農
振

利府町に果樹産地協議会が設立されました
【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】 4

農
振

みやぎ農業未来塾「農業知識向上講座」を開催しました
【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】 4

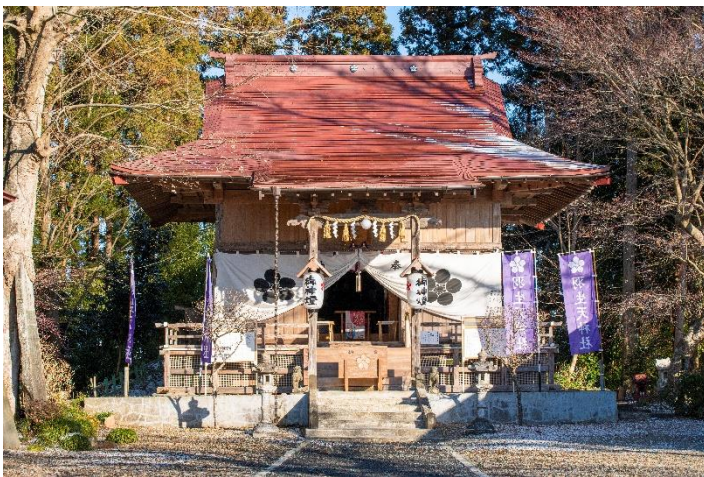
農
整

大和町立落合小学校で「田んぼダム出前講座」を開催しました
【農業農村整備部】 5

農
整

名取市立高館小学校で環境学習会を開催しました
【農業農村整備部】 5

仙台地域のこの時期おすすめの
観光スポット 羽生天神社（大郷町）



【仙台地方振興事務所Instagram】
仙台地域の観光情報を発信中です！
詳しくはこちら→





当所では農林水産現場において一定の実習を受講した料理人を「みやぎ食材伝道士」と認定しており、地域食材の旬や品質を理解し、生産現場で学んだ「生産の苦労」や「生産者の想い」を料理提供の際に、広く消費者へ伝える役割を担っていただいています。

東日本大震災以降、認定を休止していましたが、一部の料理人から認定再開を望む声もあったため、実習を受け入れる生産者に御協力いただき、今年度から新たな制度の下、認定を再開することとなりました。

今年度、認定取得に係る農林水産現場実習の募集を行ったところ、32人の方にご応募いただきました。これまで、10月に大郷町で「りんご」の玉回し・収穫を、11月に東松島市で「海苔」の刈取り・加工並びに仙台市で「サボイキャベツ※」の収穫を、12月に大郷町で「ねぎ」の収穫を行いました。参加者は、初めての作業に戸惑いながらも熱心に生産者の説明を聞き、実際の作業に挑戦していました。今後は、「牡蠣」の水揚げや「しいたけ」の植菌、「ちぢみ雪菜」の収穫等の実習を行っていく予定です。

料理人の皆さんには、実体験を通して、地域食材への理解に加え、生産者との交流も深めていただきました。

当所では、今後も仙台地域の食材の魅力発信と地産地消の取組を推進してまいります。

※フランスやイタリアで古くから愛されてきた西洋野菜で、肉厚でちりめん状に縮れた葉が特徴です。ちりめんキャベツともいいます。



りんごの玉回し作業を学ぶ様子



サボイキャベツ畑での収穫風景



海苔の異物取り作業の様子



ねぎの出荷調整作業の様子

地方振興部では、学校法人滋慶学園仙台農業テック&カフェ・パティシエ専門学校と連携し、料理人の卵である学生に地元食材を知ってもらい、生産者に対する理解や地産地消の取組を推進する活動を実施しています。

今年6月の水産現場研修で、荒浜漁港（巨理町）における未利用魚の取組について学んだ学生たちが、今回は自分たちでレシピを考案し、11月27日に、荒浜産「チダイ」を使用したお弁当やお惣菜のレシピコンテストに挑みました。コンテストでは、宮城県漁業協同組合仙南支所水産加工研究会、株式会社庄福丸、当所所長が審査員として参加しました。

学生たちは5つのチームに分かれ、緊張しながらも商品コンセプトや販売ターゲットなどを発表し、試食をした審査員からコメントを頂きました。審査の結果、「和洋中3種のソースを添えたチダイの揚げ焼き」が最優秀作品に選ばれました。学生からは「未利用魚といっても工夫をすれば料理になる」、「工夫をして販売するような料理をこれからたくさん作っていったら」との話があり、未利用魚の活用促進と地産地消について考えるきっかけとなった様子でした。

今回選ばれた作品は、鳥の海ふれあい市場等で1月以降に販売される予定です。



レシピコンテストの様子



最優秀作品「和洋中3種のソースを添えたチダイの揚げ焼き」



審査員と学生の皆さん

原木しいたけPRイベントを開催しました ▶林業振興部

仙台地域で生産されている原木しいたけの需要拡大を図るため、仙台市及び大和町の各原木しいたけ生産推進協議会と連携し、11月5日に秋保ヴィレッジアグリエの森（仙台市）とたいわ産業まつりでPRイベントを開催しました。

当日は、生産者らによる原木しいたけの販売を行ったほか、パネル展示や、一般の来場者を対象に原木しいたけの植菌体験会を行いました。植菌体験では、1人1本ずつの原木にしいたけの種駒(たねこま)※を木槌(きづち)で打ち込んでもらい、自宅でしいたけ栽培を楽しんでもらえるよう、自ら植菌した原木と、しいたけが発生する直前の原木をセットでプレゼントしました。

このイベントを通じて、多くの来場者に原木しいたけの栽培や安全性について理解してもらうとともに、原木ならではの美味しさを実感してもらうことができました。

林業振興部では、今後も原木しいたけをはじめとしたきのこの消費拡大を図るため、生産者と連携を図ってまいります。

※駒状の木片にしいたけ菌を培養させたもの。



植菌体験の様子



10月20日に、利府町役場で「利府町果樹産地協議会」の設立総会が開催されました。この協議会は、利府町内の生産者組織と利府町、仙台農業改良普及センター、宮城県農地中間管理機構、JA仙台的5機関で構成されており、利府町における果樹産地の目指すべき具体的な目標を定めた「利府町果樹産地構造改革計画」を策定し、推進することを目的としています。県内では仙南、登米、亶理の各地区に続き4番目の設立となりました。

利府町長から本協議会設立にあたって、「産地としてのますますの発展を」と期待を込めた祝辞をいただきました。また、阿部義弘会長からは、「梨産地として歴史がある地域だが、生産者の高齢化・老木化で生産性が低下している。今後は、担い手を中心として国事業を活用し、改植や新植を進め、産地の維持・発展を目指したい」と抱負の言葉がありました。

普及センターでは、今後、関係機関と共に産地計画の作成や事業導入に向けた支援を行い、利府梨の産地活性化を推進してまいります。



総会の様子

みやぎ農業未来塾「農業知識向上講座」を開催しました
▶ 農業振興部（亶理農業改良普及センター）



11月22日に、亶理農業改良普及センターを会場に、若手農業者の育成を目的とした「みやぎ農業未来塾『農業知識向上講座』」を開催し、新規就農者や若手農業者ら26名が参加しました。

本講座では、公益社団法人緑の安全推進協会の森島靖雄氏から、「農薬の適正使用及び病害虫防除」について講演いただきました。また、当普及センターから「農薬廃棄及び病害虫防除に役立つおすすめサイト」について情報提供しました。その後、病害虫診断の実習をグループに分かれて行い、参加者は、用意されたサンプルをよく観察しながら、診断アプリや参考書を見ながら診断の練習をしました。

参加者からは「農薬については知識が定着していないところがあるので、整理できて良かった」などの意見が寄せられました。

普及センターでは、今後も担い手の確保及び育成に努めてまいります。



講演の様子



病害虫診断実習の様子

9月26日、大和町立落合小学校で「田んぼダム出前講座」を開催しました。

「田んぼダム」とは、田んぼから排水路に水を落とすための落水ますに、元々の落口より小さい口径のせき板を設置することで、大雨の際に田んぼからの排水量を抑制し、農地や市街地の洪水被害を軽減しようという取り組みです。

講座では、田んぼダムの仕組みや効果についての講義、田んぼダムの模型を用いた実験を行いました。実際に模型に水が流れると、子どもたちは興味津々な様子で観察し、田んぼダムの効果が発揮された場面では歓声が上がりました。

また、大和町から各児童に配付されたせき板への絵付け体験も行われました。このせき板は、今後、大和町内の田んぼに設置されます。

子どもたちへの講座後のアンケートには、「大きなダムよりお金も時間もかからず手軽にできてすごいと思った」、「実際に水を流すのを見たときに、せき板があった方が水の流れが遅かったからびっくりした」などの感想が寄せられました。

農業農村整備部では、今後も田んぼダムの取り組みを普及させるための活動を行ってまいります。



田んぼダムについての説明



模型実験の様子

名取市立高館小学校で環境学習会を開催しました

11月10日に、名取市立高館小学校の5・6年生を対象とした環境学習会を開催しました。

名取市高館地区では、環境や生きものに配慮した水路の改修工事を行ったことで、改修の前に確認された希少な生きものが、改修後も住んでいることが確認されています。この学習会は、今後もこれらの生きものを守り、豊かな自然環境を維持していくために、生物多様性の大切さについて知ってもらうことを目的として開催しました。

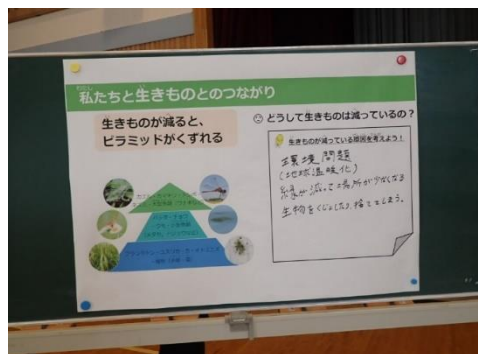
学習会では、高館地区に住んでいる生きものが自然環境の中でどのような役割をしているのか、また、私たちの暮らしとの繋がりや、生きものを守っていくために私たちができることについて説明しました。

子どもたちからは、「今日話を聞いて、身近な生きものを観察するところから始めてみようと思った」等の感想があり、今回の学習会を通じて、高館の生きものに興味を持ち、生物多様性の大切さについて理解を深めることができました。

農業農村整備部では、今後も環境や生きものに配慮した水路の改修工事を推進してまいります。



環境学習会の様子



子どもたちから出された意見

トピックス①

「うまいっちゃ！撮るっちゃ！フォトキャンペーン」を開催中です

地の味を地の風景とともに。
「地元自慢の味」をめぐる

うまいっちゃ！撮るっちゃ！フォトキャンペーン

開催期間
2023
10/7(土)～
2024
1/8(日)まで

①宮城県仙台地方振興事務所公式Instagram
「@miyagi_sendaitisin」をフォロー
②スタンプラリースポットの料理や地場産品を撮影
③「#仙台地域うまいっちゃ」のタグをつけて投稿

【対象スポットの写真の例】
左からRoute227s' Cafe TOHOKU（仙台市）、海鮮せんべい塩竈（塩竈市）、
魚屋hide菊池食品（亘理町）、里山Dining セツ母里（大和町）

地方振興部では、飲食店やカフェ、直売所などの対象スポット40カ所を巡る「仙台地域うまいっちゃ！スタンプラリー」の連動企画として「うまいっちゃ！撮るっちゃ！フォトキャンペーン」を開催しています。

御参加いただいた方の中から抽選で30名様にQUOカード1,000円分をプレゼントいたします。皆さまぜひ御参加ください。

- 開催期間
令和6年1月8日（月・祝）まで
- 参加方法

- ①宮城県仙台地方振興事務所公式Instagram「@miyagi_sendaitisin」をフォロー
- ②スタンプラリースポットの料理や地場産品を撮影
- ③「#仙台地域うまいっちゃ」のタグをつけて投稿



【対象スポットの写真の例】
左からRoute227s' Cafe TOHOKU（仙台市）、海鮮せんべい塩竈（塩竈市）、
魚屋hide菊池食品（亘理町）、里山Dining セツ母里（大和町）

トピックス②

「仙台地域ミライ企業図鑑（Web版）」を公開中です

仙台地域ミライ企業図鑑

生産用機械器具製造業
KYOKUYO 旭陽電気株式会社 宮城工場

創業55年の製造ノウハウを活かした電子部品の製造。
半導体製造装置の組立・組立・メンテナンス等の工程を
最初から最後まで、一貫して行うEMS事業を展開しています。

会社名	宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 高宮こぎはら 旭陽電気株式会社 宮城工場	仕事の内容	1.電子部品製造(ハードウェア) 2.EMS事業(半導体製造装置の製造)
住所	〒981-1629 宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 高宮こぎはら	勤務体系	8:30～17:30 【通勤】なし
代表者	代表取締役社長 金山 功雄	本務部署	製造部 検査部 検査部 検査部 検査部
設立	1968年4月 従業員数 550人	社内イベント	仙台市(仙台市、仙台市) 社員賞
資本金	15,000万円	就職先	入社可
		採用実績	東北福祉大学、東北工業大学、仙台大学、東北大学

① 工場づくりの工場を撮影して
日本産業協会東北支部の特別賞を受賞して
います。工場の様子を撮影してSNSやブログに
発信することが出来ます。

② おいしい社員食堂
交通の利便性も考えた、おたがいにこんな食
事を食べたいという声に応えて、メニューは社員が
選べる。お昼はみんな笑顔で仕事をしています。

③ イベントの充実
仙台市山崎地区の(仮称)仙台市立、高
宮地区の(仮称)仙台市立、高宮地区の(仮称)仙台市立
を撮影し、写真や動画をSNSやブログに
発信することが出来ます。

※ 働き方支援
2023年度、山崎地区、高宮地区、高宮地区、高宮地区
の企業に、働き方支援、働き方支援、働き方支援、働き方支援
の取り組みを行っています。

1人1人にスポットを当て、輝く職場を
人材不足に悩む企業に対して、旭陽電気における製造者としてのプライドを働いて人財力を高める
研修や、月に一度新たな知識教育、初級研修の受講などをオンラインで実施しています。必
ずの受講率を確保し、研修の効果を高めるための研修を行っています。必ず研修の効果を
高め、研修の効果を高めるための研修を行っています。

Q 職場の雰囲気はどうですか？
上司の方々がみんな優しく、分からないことがあっても聞きやすい雰囲気です。

Q 仕事を覚えるのに大変なとき、どうやって乗り越えましたか？
取ったことをメモを取り、復習を繰り返すことにしていました。

Q 働き始めて成長したと思うところはどこですか？
集中力が上がり、コミュニケーション能力も向上しました。

●ある一日のスケジュール●
6:30 7:45 8:30 12:00 17:30 19:00 20:00 23:00

地方振興部では、仙台地域の企業を紹介する企業ガイドブック「仙台地域ミライ企業図鑑（Web版）」を県HPで公開しています。

当ガイドブックは、主に高校生を対象として「仙台地域の企業や、その企業の活動について興味・関心を持ってもらいたい」、「高校生が将来関わる職業について考える機会にほしい」という目的で、仙台地域の企業の御協力のもと、作成しているものです。

各企業の紹介ページでは、企業概要やPRポイントをはじめ、新入社員へのサポートや若手社員へのQ&A、ある1日のスケジュールなど、将来の進路選択において参考になるような情報を掲載しています。

当ガイドブックは高校生向けのものですが、高校生以外の方々にもご覧いただき、仙台地域の産業や企業について知っていただく機会となることを期待しています。

12月27日の時点で20社掲載しており、企業情報は順次追加・更新を行っていく予定ですので、ぜひ御覧ください！

「仙台地域ミライ企業図鑑（Web版）」HP
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/sd-kigyouzukan.html>

ガイドブックは
こちら

作成：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部 ☎022-275-9140（担当：佐々木）

次号は令和6年2月下旬発行予定です。